

施策	2101 都市基盤の充実						
区分	妥当性	妥当	コスト削減の余地	有	受益者負担	適正	
	上位貢献度	有効	類似事業の有無	有	成果向上の余地	有	
対象	市民						
施策が目指す姿	「市都市計画マスタープラン」に基づく適切な土地利用の推進、主要道路の整備推進、鉄道駅周辺の利用環境の充実等を図る。						
成果指標	幹線市道の改良率・・・5年間（平成25年度～平成29年度）で85.8%（現状値83.3%）						
目 標 達 成 状 況			平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	成果指標1 [%]	予定	83.80	84.60	85.10	85.40	85.80
		実績	84.30	84.50	84.90	85.00	
	成果指標2 []	予定					
		実績					
	成果指標3 []	単位コスト					
		予定					
	成果指標4 []	実績					
		単位コスト					
	トータルコスト (千円)	予定	706,848	796,849	716,120	731,703	
実績		884,164	590,616	707,217	626,252		
内 部 評 価	貢献度	上位施策の目標指標「道路の整備・保全に対する市民満足度」を向上させるためには都市基盤としての幹線道路の整備が重要であり本単位施策の目標達成による貢献度は高い。					
	達成状況	計画的な進捗管理のもと主要事業の達成率が平均96%と昨年度に比較して高い結果となった。その他の事業についても計画どおり進めることが出来た。					
	課題	一部の事業で関係権利者や関係機関との調整に時間を要し未達の事業が出た。事業計画の見直しと更なる関係権利者の理解と協力を得ることが必要である。					
	取組方針	事業の必要性について関係権利者に十分な事前説明を行なうと共に、関係機関との綿密な打ち合わせを行い計画的な事業推進を図る。					
外 部 評 価	駅はその地域の顔となるシンボリックな存在であるため、藤岡駅前広場等の整備は関係権利者や周辺住民の意見をよく聞いて、整備の必要性も含めて慎重に進めるべきである。JR岩舟駅は、現在北口しかなく、利用者の多くが南側の住民であるため、南口の整備は関係権利者等との調整を図り、課題解決に向けて、できるだけ早めに進めるべきである。また、通学路が大雨により冠水する箇所があるので、優先的に改修を行うべきである。幹線市道については事業用地の確保が必要なことから、十分な事前説明や協議により、関係権利者の理解を得て円滑に事業が着手ができるようにしていただきたい。						
単 位 施 策 達 成 の た め の 事 務 事 業	事業コード	名 称				トータルコスト(千円)	達成度
	400201	道路台帳整備委託費				44,551	100
	400301	道路河川整備課一般経常事務費				9,731	100
	404001	市道2065(209号)線道路改良事業費(栃木平井町)				30,590	100
	404501	市道102号線道路改良事業費(栃木今泉町1丁目)				73,455	100
	404601	市道1024(114)号線道路改良事業費(栃木吹上町・宮町)				35,610	100
	407403	市道1066(F6)号線道路改良事業費(藤岡富吉1区)				64,574	100
	409402	市道O-205号線道路改良事業費(大平下皆川)				25,874	100
	409702	市道1061(O-527)号線歩道整備事業費(大平新)				8,876	100
	430101	都市計画課一般経常事務費				25,093	100
434301	シビックコア推進事業費				2,864	100	

平成28年度

単位 施策評価表 補表

施策	2101 都市基盤の充実		
区分	妥当性	妥当	都市基盤の充実のため、本単位施策下の事務事業の推進は不可欠なため。
	コスト削減の余地	有	各事業の整備手法見直しにより若干の余地があるものと思われる。事業手法の見直しと各地域の実情に合わせた適正な計画とすることが必要である。
	受益者負担	適正	事業に必要な用地取得等については、公共事業の補償基準等により適正に事業を実施している。
	上位貢献度	有効	「暮らしやすい都市の創出」のためには、都市基盤を充実させることが最も貢献度が高いものと思われる。
	類似事業の有無	有	生活道路や下水道、公園等住環境の整備も都市基盤の充実に必要であるため。
	成果向上の余地	有	成果指標の実績が予定を下回っていることから、各事業の進捗管理と計画の見直しが必要であり、これに必要な予算の確保にも努力する必要がある。
内部評価	貢献度		
	達成状況		実施計画に基づいた計画的な進捗管理により、主要事業の達成率は22事業中20事業が100%となり、平均96%と昨年度に比較して高い結果となった。 その他の事業についても特に問題なく計画どおり進めることが出来た。
	課題		一部の事業で地権者との交渉に時間を要したことや鉄道会社等関係機関との調整に時間を要し未達の事業が出た。止むを得ない理由もあるが、事業の見直しと更なる関係権利者の理解と協力を得ることに努める必要がある。
	取組方針		

事

様式 1

栃木市事務事業評価表

平成 28 年度

会計	一般	款項目	080203	予算事業コード	407403	事業区分	01	投資的事業	新規/その他	2	その他	基本施策		単位施策			
事業名	市道 1066 (F6) 号線道路改良事業費 (藤岡富吉 1 区)										主	2101	暮らしやすい都市の創出	都市基盤の充実			
担当部課 係・担当チーム名	建設水道部 道路河川整 道路整備第2係					担当者	大森光一					従					
事業の性質	2	自治事務	根拠法令等	道路法								事業期間	H18 ~ H31 年度		全体事業費 (人件費除)	700,000	千円
事業の概要	(事業完了(事業期間のない事業は平成33年度)までに、誰(何)を、どういつ方法で、どうしたいのか。対象、手段の記入) 市道1066(F6)号線(藤岡富吉~蛭沼)を道路ネットワークとアクセス性の向上を図るため 延伸し、用地買収・道路改築工事等により新設する。 L = 1,880m W = 10.0m A 21,000㎡ 【主要事業】										達成目標	(事業完了(事業期間のない事業は平成33年度)の目標) 道路ネットワークとアクセス性の向上及び安全で快適な通行を確保する。					
											成果目標	幹線市道の改良率・・・5年間(平成25年度~平成29年度)で85.8%(現状値83.3%)					

単位：千円、人	平成27年度決算額	平成28年度決算見込												
事業費・指標の推移	国庫支出金	9,262	46,590	平成27年度					平成28年度					
	県支出金	0	0	【事業の内容】 市道F6号線整備にあたり用地取得及び道路改良工事を実施する。 【成果】 道路改良工事 L=169.3m W=10.0m H28へ繰越 用地取得 4,207.26㎡ 用地取得率78.1% 物件補償 1件					【事業の内容】 市道1066(F6)号線整備にあたり用地取得及び道路改良工事を実施する。 【成果】 道路改良工事 L = 169.3m W = 10.0m 用地取得 1,513.59㎡ 用地取得率 85.1%					
	地方債	31,900	14,900											
	その他特財	0	0											
	一般財源	3,587	1,884											
	事業費 a	44,749	63,374											
	人件費 b	1,200	1,200											
減価償却費 c	0	0	事業の内容 その成果											
総事業費 a + b + c	45,949	64,574	指標名	算出方法			単位	事業の事後評価	妥当性	コスト削減の余地	受益者負担	上位貢献度	類似事業の有無	成果向上の余地
結果指標 1	23.81	32.86	事業進捗率	累積事業費 ÷ 全体事業費 × 100 H28目標値：34.53%			%		妥当	有	適正	有効	無	有
結果指標 2	0.00	169.30	道路整備延長	累積整備延長 H28目標値：420.0m			m							

事業改善計画	(改善内容とその効果を具体的に記入)														
	事業費コストの縮減 再生資源の活用による建設コストの削減により計画的に道路改良工事を実施する。														

事後評価備考															
--------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事

様式 1

栃木市事務事業評価表

平成 28 年度

会計	一般	款項目	080403	予算事業コード	493803	事業区分	01	投資的事業	新規/その他	2	その他	基本施策		単位施策		
事業名	藤岡駅前広場整備事業費										主	2101	暮らしやすい都市の創出		都市基盤の充実	
担当部課 係・担当チーム名	建設水道部 道路河川整 道路整備第2係						担当者	大森光一				従				
事業の性質	2	自治事務		根拠法令等		都市計画法		事業期間	H25 ~ H33 年度			全体事業費 (人件費除)	412,650		千円	
事業の概要	(事業完了(事業期間のない事業は平成33年度)までに、誰(何)を、どういつ方法で、どうしたいのか。対象、手段の記入) 駅利用者の利便性を高めるため駅前広場の整備推進を図る。 整備面積 2,000㎡ 【主要事業】							達成目標	(事業完了(事業期間のない事業は平成33年度)の目標) 快適に利用できる駅前広場を整備する。							
								成果目標	幹線市道の改良率・・・5年間(平成25年度~平成29年度)で85.8%(現状値83.3%)							

単位：千円、人		平成27年度決算額	平成28年度決算見込										
事業費・指標の推移	国庫支出金	0	0	事業の内容 その成果	平成27年度	平成28年度							
	県支出金	0	0		【事業の内容】 駅利用者の利便性を高めるため駅前広場の整備推進を図る。	【事業の内容】 駅利用者の利便性を高めるため駅前広場の整備推進を図る。							
	地方債	0	0		【成果】 事業認可申請書の策定業務を実施し事業認可に必要な書類の準備が整った。	【成果】 関係機関との協議や地権者との交渉を実施した。							
	その他特財	0	0										
	一般財源	4,730	0										
	事業費 a	4,730	0										
	人件費 b	3,750	3,750										
減価償却費 c	0	0											
総事業費 a+b+c	8,480	3,750		指標名	算出方法	単位	事業の事後評価	妥当性	コスト削減の余地	受益者負担	上位貢献度	類似事業の有無	成果向上の余地
結果指標 1	0.01	0.01	事業進捗率	累積事業費 ÷ 全体事業費 × 100	H28目標値：0.01%	%		妥当	無	適正	有効	無	有
結果指標 2													

事業改善計画	(改善内容とその効果を具体的に記入) 藤岡駅東まちづくり研究会等の関係機関と連携を図り、円滑な事業推進に務める。													

事後評価備考														
--------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事

様式 1

栃木市事務事業評価表

平成 28 年度

会計	一般	款項目	080403	予算事業コード	493901	事業区分	01	投資的事業	新規/その他	2	その他	基本施策		単位施策	
事業名	今泉川川線道路整備事業費(栃木今泉町1・2丁目・日ノ出町)										主	2101	暮らしやすい都市の創出	都市基盤の充実	
担当部課 係・担当チーム名	建設水道部 道路河川整 道路整備第1係					担当者	阿部 洋一		従						
事業の性質	2	自治事務	根拠法令等	都市計画法、道路法			事業期間	H25 ~ H33 年度		全体事業費 (人件費除)	1,730,000		千円		

事業の概要	(事業完了(事業期間のない事業は平成33年度)までに、誰(何)を、どういつ方法で、どうしたいのか。対象、手段の記入) 日ノ出町及び今泉町1・2丁目地内の都市計画道路今泉川線を、用地買収・改築工事により新設する。 ・道路改築工事 L=950.0m W=24.0~16.0m ・用地取得 約13,500㎡ ・物件補償 建物17棟、他工作物等 【主要事業】					達成目標	(事業完了(事業期間のない事業は平成33年度)の目標) ・広域幹線道路小山栃木都賀線との連携により東西軸の幹線道路を整備し、道路ネットワークの確保及び市街地形成を図る。 ・鉄道との交差道路を立体化することにより、安全で円滑な道路交通環境を確保する。				
						成果目標	幹線市道の改良率・・・5年間(平成25年度~平成29年度)で85.8%(現状値83.3%)				

単位：千円、人		平成27年度決算額	平成28年度決算見込										
事業費・指標の推移	国庫支出金	0	0										
	県支出金	0	0										
	地方債	29,400	26,000										
	その他特財	0	0										
	一般財源	3,324	2,996										
	事業費 a	32,724	28,996										
	人件費 b	1,500	1,500										
減価償却費 c	0	0											
総事業費 a+b+c	34,224	30,496											
結果指標 1	0.00	0.00	指標名	算出方法	単位	事業の事後評価	妥当性	コスト削減の余地	受益者負担	上位貢献度	類似事業の有無	成果向上の余地	
結果指標 2	2.90	4.57	道路整備延長	累積整備延長	H28目標値 0.00m		m	妥当	有	適正	有効	無	有
			事業進捗率	累積事業費÷全体事業費×100	H28目標値 4.57%		%						

事業改善計画	(改善内容とその効果を具体的に記入)											
	1. 事業費コストの縮減 用地取得に伴い移転の必要な補償費削減を意識した計画線の検討および決定 再生資源の活用による建設コストの削減 2. 時間管理のコスト縮減 事業地取得に要する期間短縮 円滑な移転ができるような方策の検討											

事後評価備考												
--------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事

様式 1

栃木市事務事業評価表

平成 28 年度

会計	一般	款項目	080401	予算事業コード	712506	事業区分	01	投資的事業	新規/その他	2	その他	基本施策		単位施策		
事業名	岩舟駅南口整備事業費										主	2101	暮らしやすい都市の創出		都市基盤の充実	
担当部課 係・担当チーム名	都市整備部 市街地整課 市街地整備第1係						担当者	佐藤 真沙人			従					
事業の性質	2	自治事務	根拠法令等		都市計画法		事業期間	H26 ~ H33 年度			全体事業費 (人件費除)	1,020,000		千円		
事業の概要	(事業完了(事業期間のない事業は平成33年度)までに、誰(何)を、どういう方法で、どうしたいのか。対象、手段の記入) 岩舟駅周辺地区について、駅への安全なアクセス道の確保、駅南口駅前広場の整備、駅周辺地区の計画的な土地利用による定住促進・生活環境の向上を図る。 ・全体計画 68.3ha 【主要事業】						達成目標	(事業完了(事業期間のない事業は平成33年度)の目標) 岩舟駅周辺地区の定住促進・生活環境の向上を図る。								
							成果目標	幹線市道の改良率・・・5年間(平成25年度~平成29年度)で85.8%(現状値83.3%)								

単位：千円、人	平成27年度決算額	平成28年度決算見込	事業の内容 その成果									
事業費・指標の推移	国庫支出金	0	0	平成27年度		平成28年度						
	県支出金	0	0	【事業の内容】		【事業の内容】						
	地方債	0	0	・基本構想の策定及び権利調査等を実施する。		・整備基本計画に地域住民の意見を反映するため、アンケート調査等を行う。						
	その他特財	0	0	【成果】		・アンケート結果を反映したまちづくり計画案を作成する。						
	一般財源	652	1,944	・基本構想に位置付けた道路及び駅南口駅前広場等に関わる権利調査を実施した。		【成果】						
	事業費 a	652	1,944	・事業手法の検討及び関係機関と協議を行った。		・アンケート調査、交通量実態調査を実施し、地元住民の意識や駅周辺の交通現況を把握した。						
	人件費 b	5,250	7,500			・地元説明会等による意見の聴取。(13回)						
減価償却費 c	0	0										
総事業費 a+b+c	5,902	9,444	指標名	算出方法	単位	事業の事後評価	妥当性	コスト削減の余地	受益者負担	上位貢献度	類似事業の有無	成果向上の余地
結果指標 1	0.11	0.30	進捗率	(実施事業費/全体事業費) × 100	H28目標値 0.26%	%	妥当	無	適正	有効	無	無
結果指標 2												

事業改善計画	(改善内容とその効果を具体的に記入)											
	・各種調査等の結果から本地区の課題を整理し、地元住民の意見を反映した整備計画を作成していく。 ・本地区の整備計画に際しては、地元代表者等による組織を早期につくり、まちづくりの方向性や整備手法について協議・検討を重ねる。											

事後評価備考												
--------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--